

丸岡城関連の絵図資料購入について

【購入経緯】

令和4年10月に丸岡城関連の古地図がインターネットで販売されていることが確認されました。この資料について専門家に確認したところ貴重な資料であることが判明したため、資料の散逸を防ぎ今後の丸岡城の調査研究に活用することを目的として、令和5年3月に丸岡城の絵図2点を購入しました。今後、調査研究を進めるとともに一般への公開も予定しています。

【絵図の概要】

① ししゅうと ぼじょうず 志州鳥羽城図という丸岡城図 (130×174 c m)

「志州鳥羽城図」との内題がありますが、五角形の内堀、丘上の本丸や麓の二の丸の形状、あるいは城下町の町割り形状、「三国道」「一本田道」「鳴鹿道」といった道名から、丸岡城とその城下町全体を描いた絵図であります。

- ・城郭内の建物の所在が記載されている貴重なもので、今後研究していく上で比較資料となります。
- ・地図の内容については、本多氏時代(1624～1695)のものと推定されます。
- ・城郭や街並みが比較的正確に記載されています。
- ・道の名前が地元名で表現されていることから、地域状況に詳しい人が書いたと推定されます。

② 越前の国丸岡城図 (40×56 c m)

外題、内題等はありませんが、丘上の本丸や麓の二の丸の縄張、五角形の内堀などの形状から丸岡城を描いた絵図です。天守はみられませんが、本丸と二の丸の御殿や門、櫓などの建物が描かれ、北東隅(下方左隅)には「内長畝口」の枳形も描かれています。

- ・地図の内容については、本多氏時代以降のものと考えられます。